

# 岩手教区報

第362号  
 立教186年2月1日  
 天理教岩手教務支庁  
 盛岡市馬場町3-40  
 TEL 019-622-7962  
 FAX 019-623-9597

とても大きい声では言えませんが、私はある女性の夢を見ました。ある街を歩いていると、一人の若い女性が驚いた顔で私を見ているのです。視線に気づき相手の顔を見ても誰なのかは分かりませんでした。でも尋常じゃない驚きようが気になって、ずっと見ているうちに思い出しました。この女性は10年前に里子として我が家にやってきたSちゃんでした。今、17歳になっています。児童相談所の方針もあり、Sちゃんも私たちの元を巣立って8年。それ以来一度も会えず、元気で学校に通っているのか、身長が伸びたのかなど、何を尋ねても「個人情報なので教えられない」と、何一つ情報を得ることはできませんでした。

さて、どうしてこんな夢を見たのか、それは容易に思いつきませんでした。私は、Sちゃんが生まれ育った町を通る時があると、車窓からSちゃんの姿を探すことがあります。今では車で走りながら、どこともなく学校の近くを通ったり、登下校の生徒や学生を見ると、そこにSちゃんの姿を探していることがままあります。そんなこともあったの夢だったかも知れませんが、あれから10年。私と妻がSちゃんのためにできることは、成長と幸せを祈ることと月次祭に理立てをす



勤めただけが我がのもの  
 主事・布教部長 権谷 正一



教祖140年祭



## 婦人會

### 「第30回女子青年大会」参加報告②

#### 参加者の声

「女子青年大会」がこのタイミングで行われたこと、それに参加できて本当に良かったです。教祖140年祭に向けての心定めをするきっかけにもなり、残り一か月でしっかりと心定めをし、一月から良いスタートがきれるようにしたいです。

奥州支部 黒沢百代



「女子青年大会」に参加できた事で、少しでも教えを学ぶ事ができたと思います。一番心にとめておくべきと感じたことは、「人助け、人のために何かをすることであるのうすることが大切」ということです。苦しい時、つらい時こそお道の教えを思い出し、明るい気持ちで陽気ぐらしを意識していきたいと思えました。

親神様、教祖のお

心に応えられるように、日々自分磨きをして人助けがたくさんできるよう、小さな事から始めていきたいと思えます。

二戸支部 堀口奈湖

「女子青年大会」や「支部の集い」から、たくさんのお話を学ぶことができました。これから高校生や社会人になっても、学んだことを思い出し、日々生活したいです。密度の濃い二日間でも楽しかったです。

盛岡支部 横山あいり

岩手からバスでおちばがえりをしてくれた仲間、おちばと一緒に参加してくれた仲間、そして今回行くことが叶いました。仲間で、色々な形で応援してくれた仲間、みんなの支えがあったからこそ大会となりました。式典では、真柱様、婦人会長様のお話や女子青年の仲間の歩みを聞くことができました。

千日が始まるにあたり、教祖のひながたを知り、学ぶことが大切であると教えて頂きました。これからの活動では、そのことを楽しく学べるような機会をつくっていき



らと思えます。「女子青年大会」は終わりましたが、活動は続きます。これからもよろしく願います。

女子青年委員長 舟生つばさ

澄み切った青い空、柔らかい日差し、久しぶりのおちばの空気でした。大会当日は、岩手につながる女子青年のたくさん顔を見ることができて、とても嬉しかったです。また、参加してくださった婦人会の皆さんの女子青年に負けないくらいの若さと体力に脱帽です。

今回、色々な事情で参加できなかった仲間の分まで、気持ちを一つにできた有意義なおちば帰りになったと思います。皆様のご支援に感謝、感謝です。

担当スタッフ 門間初子

#### 行事予定 【2月分】

- 1日 役員会 (10時)
- 11日 献血呼びかけひのきしん (10時)
- 18日 青年会例会 (19時)
- 19日 道の教職員の集い例会 (10時)
- 27日 少年会例会 (20時)
- 28日 婦人会例会 (10時)



昨年5月から9月にかけて、左記の支部有志24人の方々に教務支庁の除草などの外回りひのきしんを勤めて頂き、特に中庭は、見栄え良くきれいに整えられた。来年度も実施する予定です。

**立教185年度  
「教務支庁ひのきしん」報告**



**学生担当委員会**

**「第38回教区学生会総会」報告**

教区学生会では、去る12月17日(土)、教務支庁において「岩手教区学生会総会」を開催し、11人(本会委員2人、学生3人、中学生2人、学生担当委員4人)が参加した。



総会に先立ち、座りづとめに続いてよろづよ八首を総立ちで勇んで勤めさせて頂いた。式典では、昨年の秋季大祭においてご発布下された論達第四号を全員で拝読させて頂いた後、中田祥浩主事より祝辞があり、「コロナ禍は出来ないことばかり目に付くが、いつも通りに出来ることも沢山ある。無いものに不足せず、有る

ものに喜ぶことが陽気ぐらしへの道。学生時代は密！毎日を大切に喜び心で通ろう」と話された。

続いて、鈴木真浩教区学生担当委員長があいさつ。次に、番場真結天理教学生会副委員長が委員長のメッセージを代読した。最後に崎山陽平教区学生会委員長から、「仲間を一人でも多く増やして、春の学生おぢばがえりには、一人でも多くの学生が参加してくれるよう頑張りたい」と決意を込めた挨拶があり、式典は終了となった。

式典後、参加者の交流を図るべく屋内でのゲームや昼食をとり親睦を深め、午後3時頃解散となった。

コロナ禍により、3年ぶりの総会開催となったが、今後も弛まぬ努力と丹精をもって、学生層育成に努め、様々な活動を通して学生たちの成人の歩みをサポートしていきたい。



県南支部	5月15日(日)	6人
奥州支部	6月10日(金)	6人
花巻支部	7月3日(日)	7人
三陸支部	9月16日(金)	5人



**献血推進委員会**

**「バレンタイン献血呼びかけ  
ひのきしん」【2月11日】**

教区献血推進委員会では、左記の通り、「バレンタイン献血」の呼びかけひのきしんを行います。一人でも多くのご参加をお待ちしております。  
当日は女子高校生、大学生からライオンズクラブまでの多彩なボランティア団体の皆さんとともに、プラカードを持って献血を呼びかけます。

記

日時 2月11日(土) 10時~16時30分  
集合場所 イオンモール盛岡南  
連絡先 小笠原敦子委員長  
090-5840-3541

**立教186年 春の学生おぢばがえり**  
- 次代を担うようほくへ -

立教186年(令和6年) 3月28日-27日

07日(月)午後 びんがね(盛岡市) 08日(火)午後 小笠原(盛岡市) 09日(水)午後 小笠原(盛岡市) 10日(木)午後 小笠原(盛岡市) 11日(金)午後 小笠原(盛岡市)

立教186年(令和6年) 3月28日-27日

07日(月)午後 びんがね(盛岡市) 08日(火)午後 小笠原(盛岡市) 09日(水)午後 小笠原(盛岡市) 10日(木)午後 小笠原(盛岡市) 11日(金)午後 小笠原(盛岡市)

ひのきしん 別席

**「立教186年  
学生生徒修養会大学の部」**

期間 3月4日~3月8日  
受講対象 ①大学・短期大学・大学院・専門学校・高等専門学校(4年生以上)の在学生。  
②全期間(4泊5日)を通して受講できる者。  
募集人員 400名  
内容 講話、グループワーク、修練(おつとめ勉強)など。  
受講御供 10000円  
申込方法 所定の申込書に直属教会長の署名・捺印後、学生担当委員会事務局迄。  
申込べ切 2月15日

**「献血推進研修会」【3月1日】**

教区献血推進委員会では、献血ひのきしん活動のより一層の充実と発展を期する上から、左記の要項で研修会を開催します。一人でも多くのご参加をお願いします。

記

日時 3月1日(水) 10時30分~11時30分  
場所 教務支庁  
講師 菊池克也氏(岩手県赤十字血液センター献血推進係長)  
主旨 血液事業の現状と課題を把握し、献血ひのきしんの推進に役立てる。  
※教区役員会に出席する支部長以外の参加者数を前日迄に小笠原委員長へご連絡下さい。

**計 報**

留場 義光 (72歳)  
花巻支部・遠野分教会長  
令和5年1月23日出直された。